



# ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

## WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 永 井 正 美  
幹 事 西 澤 吉 樹 会 報 委 員 長 村 上 武 史

RI 2660地区  
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2172

2014-2-21

事務所 〒542-0012 大阪市中央区  
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号  
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899  
http://www.osaka-johnan-rc.org/  
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp  
例会場 シェaton都ホテル大阪 上本町6-1-55  
TEL (06)6773-1111  
例会日 金曜日 12:30

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013-2014年度国際ロータリー会長 ロン D. パートン

### 本 日 の 例 会 ) 2月21日(第3例会)

- 卓話 「ステンレス鋼について」  
ステンレス鋼とはどのような鋼材か？  
という基礎的な知識を分かりやすく説明し  
ます。加えて日本へのエールをこめて米  
国駐在時に感じたことをお話し致します。  
新日鐵住金ステンレス(株) 営業本部 大阪支店  
ステンレス薄板室長 堀江秀明氏  
(佐伯爲次会員担当)

### 次 週 の お 知 ら せ ) 2月28日(第4例会)

- 卓話 「中国で会社を経営する(その4)」  
大原 文会員
- 食膳 〈中国 円卓料理〉

### 次 々 週 の お 知 ら せ ) 3月7日(第1例会)

- 卓話 「大阪府立堺支援学校大手前分校の現  
状と課題」  
大阪府立堺支援学校大手前分校  
教諭 西田裕志氏

### 先 週 の 記 録 ) 2月14日(第2例会)

- 出席報告  
出席会員 35名 (内免除会員 7名)  
会員総数 52名 (同上 19名)  
ゲスト 1名  
ビジター 0名

計 36名

ホームクラブ出席率 81.40%

1月31日(第5例会)補正出席率 93.75%(MU 4名)

- ゲスト&ビジター(敬称略)  
磯田郁子(卓話者)

### ◆ 会 長 の 時 間 ◆

「布施」

お布施というと、仏事の時にお坊さんへのお経料と思っておられる方が結構おいでになります。しかし、もともとサンスクリット語で「ダーナ」の意識で、音では「旦那(檀那)」です。布施は菩薩行である六波羅蜜(布施・持戒・忍辱・精進・禪定・智慧)の第一に挙げられ、自分の持ち物を惜しみなく他人に与え、共助して喜びあうことをいう言葉です。それで僧侶が仏の教えを説いて聞かせることを「法施」といい、恩にきせることなくお金や衣食などの物質を与えることを「財施」といい、さらに、恐怖や不安を取り除いて安心させることを「無畏施」といい、この三つを「三施(三種の布施)」と呼んでいます。さらにお金や物のことだけでなく、笑顔・愛情で相手に接することも布施であり、これを「無財の七施(慈眼施・和顔施・愛語施・身施・心施・壮座施・房舎施)」と呼んでいます。

### ◆ 委 員 会 報 告 ◆

「ロータリーの友」2月号の紹介

雑誌・広報委員 三宅善太郎

先ず、RI会長のメッセージの頁にて、ポール・ハリスの理念に触れつつRI年次大会のすばらしさについて述べられています。

2月号は世界理解月間に因み、世界平和と国際親善の特集が組まれています。横P8から田中作次前会長が前年度に計3回行った「ロータリー世界平和フォーラム」を紹介しながら、ロータリアンの平和への関わり方を分かり易く述べておられます。RI指定記事で横P40からポリオ撲滅計画の終盤戦の状況とロータリアンが出来る行動が紹介されています。

縦P4から、正に「平和」という題でルワンダの女性の記事が載っております。読み書きといった最低限度の教育や夜、安心して布団に入ることなど私たちには当たり前のことができない地域があり、危険が伴う中で状況の改善に活躍する姿に感銘をうけます。

その他、縦P16の「LCからRCへ」や縦P19「アイスマン」など興味深い記事がありました。

2月は世界理解月間です!!

## 〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

### 卓話

2月14日 <第2例会>

#### 「ロータリー青少年交換について」

地区青少年交換委員会副委員長  
磯田郁子様

(大阪東淀ちゃやまちRC)

皆様こんにちは。地区青少年  
委員会副委員長の磯田郁子と  
申します。今日は青少年交換プ  
ログラムのあらましについてお  
話しさせていただきます。



皆様すでにご存じのようにロータリーの青少年のプログラムには青少年活動委員会が行っているRYLA、ニコニコキャンプ、インターアクト、ローターアクトがあり青少年交換もその1つです。青少年交換は15才～18才までの高校生を外国に派遣し、同時に派遣国から交換学生を受け入れ、相互に異なった生活様式を経験させるのがその目的で、国際理解を深め平和の基盤を築く人格形成の機会を与えるプログラムとして年間8,000人が参加しています。

交換の種類は長期交換と短期交換の2つあり、長期交換(1年間)は学校に通学することが義務づけられ、短期交換(数日～数週間)は夏休みなどの期間中なので学業の義務はありません。

このプログラムは1920年代にヨーロッパの少数クラブ間でお互いの子弟を交換し合ったのがその始まりです。第二次世界大戦で一時中断したものの1946年には相互交換が再開され、1950年代に交換プログラムが盛んになり、ロータリー青少年交換の原型に発展しました。1972年国際ロータリー理事会において、正式プログラムに認証されました。

ロータリアンはロータリーが用意する様々な奉仕プログラムの受益者にはなれないという中で唯一、青少年交換プログラムのみがロータリアンの子弟の参加が認められています。今までの当地区からの主な派遣国はアメリカ(66)、カナダ(28)、オーストラリア(2)、ニュージーランド(9)、ドイツ(16)、フランス(11)、スイス(1)、チェコ(4)、イタリア(2)、ベルギー(10)、ポーランド(4)、オーストリア(2)、ハンガリー(8)、スペイン(2)、ノルウェー(2)、フィンランド(10)、スウェーデン(1)、メキシコ(1)、ブラジル(4)、アルゼンチン(28)、インド(2)、台湾(1)、タイ(2)(2010年まで)などですが、やはり英語圏志向があります。ただこのプログラムは語学留学ではないので、委員会では英語圏だけではなくフランス語圏をはじめとするその他の国もたくさんの学生が希望してくれることを望んでいます。

このプログラムの難しいところは、今までロータリーとの関わりがなかった人を派遣する場合にロータリーの期待することやその精神などをなかなか理解してもらえないこと、またホストファミリーが見つからないことなどです。

当2660地区の青少年交換委員会の活動としては①派遣学生オリエンテーション(年7回)、②来日学生オリエンテーション(年5回)、③ROTEX主催の来日学生日本文化体験研修、④来日・派遣候補学生の東京方面と広島方面研修、⑤ROTEX活動の指導援助などがあげられます。

この青少年交換で1年間海外に派遣された高校生達は、出発前とは別人のようにしっかりとし、立派になって帰ってきます。また帰国後もROTEXとして後輩達や来日生達の面倒を見てくれるようになります。このプログラムは世界平和のために若い親善大使を育てるすばらしいプログラムです。

次年度はご無理を申しまして、大阪城南ロータリークラブ様には久松秀太郎君のスポンサークラブになっていただきました。彼はたいへん優秀ですばらしい人物です。彼と交換で日本にやってくる学生ともども、何かとご面倒、お世話をおかけすることと思いますが、どうか1年間よろしく願いいたします。

### にこにこ箱

2月14日(第2例会)

- 本日卓話でお邪魔いたしました。どうぞよろしく願いいたします。

磯田郁子様(大阪東淀ちゃやまちRC)

- 磯田さんようこそ!

岡部(泰)会員

- ゲストスピーカーに磯田様をお迎えして。私は愚息の卒業式参加で欠席です。西谷さん、代行料安くしてくださいね。

原田会員

- 当クラブのHPへの訪問者数が先週2万回を超えました。

山下会員

- 会長、私はそんなに年寄ですか、不良会員ですか…

杉原会員

- 他 お祝い1件 早退お詫び2件

(編集担当 三宅・宇津井)

会員増強にご協力を!!